

2018.3.10-11

7年目の宮城へ。

海が見える丘から未来の自分へ、大切な人へ、  
ポストカードを贈る旅。

## ツアー概要 (2018年3月10～11日)

### ● コンセプト

- ・ 現地に来て、初めて得られる事実と感情

現地に来て実際に見なければ得られない事実や感情がある。

(12mの津波が襲ったと知ることができても、かさ上げ工事中の12mの盛り土を目の前にすると、そこでしか感じ得ない気持ちが必ずある)

メディアでの報道も減少傾向にあり、取り上げられるのは節目の出来事が多い。そんな今、震災から7年目となる2018年、被災地のリアルな現状を見たい。

- ・ 「自然の美しさと厳しさ」を感じる

町、自然と寄り添って走る鉄道の、震災遺構と新しく生まれ変わった姿を撮影し、自然の力について考えたい。

仙石線震災遺構(津波被害のあった野蒜駅跡)を見学後、海を背に走る区間で列車を撮影。津波被害を受けた駅を見学し、自然のもたらした力の大きさを知った後、青く輝く海をバックに走る鉄道を撮影する。

- ・ ご参加のみなさまは発信者

現地へ足を運び、話を伺い、風景を見て、現地の風に吹かれた方はすでに発信者。現地で感じた気持ち、撮影した写真、話を伺った事実を家族友人に話す、またはSNS等へ公開することが被災地の今を伝える貴重な発信になる。そして、それを見て関心を持った方が初めて被災地を訪れる。足を運ばなければ得られないものが必ずある。文字や写真や映像ではなく、自らの五感でなければ得られないものが必ずある。一人でも多くの方と被災地とを繋いでいきたい。

- ・写真で残す

ツアー中は写真を撮影することに重きを置いて被災地の「今」を記録する。被災地という場所は、写真の記録という面が全面的に力を持ち出す被写体。且つ、みなさまが感じた想いを表現する作品を撮ることが、決して風化させてはいけない東日本大震災を「伝える」活動においてもメッセージ性を強める。ツアー中は、そのための写真技術のレクチャーも行う。規模が予想できない自然災害は、明日起こっても不思議ではない。

● 現地からポストカードを投函します

その日撮影した写真をプリントアウトして、手書きのメッセージを書き入れます。感情は繊細な生もの。後で思い出して書き留めることはできない。被災地に来て得た大切な想いを、いつまでも忘れず、止めておくために。現地で撮った写真に、その日のうちに生のことばを直筆で添えて。未来の自分や、大切な人へ投函します。

<取り組みへの考え>

・「自然災害・命」との向き合い

震災に始まりと終わりはなく、区切りをつけることはできない。

生きていくうえで、どんな無駄を排除しても残る大切な出来事。

それは直接の被害者ではなくても、知るべき出来事。

自然の現象は予想できない。今日は大丈夫でも明日は何が起こるか、誰もわからない。そんな気持ちがいつも、どこかにあると、本当に素晴らしい時間を過ごしたくなる。誰といたいのか、何をしたいのか、何を残したいのか。自分の人生を決めることができるのは自分しかいない。

・「7年目の被災地。今を撮る。」

報道量は年々減り続け、被災地の現状を知る人は少ない。

被災地の今を見ることは、時の流れを考えること。

1日、1時間、1分、1秒の積み重ねが1週間、1ヶ月、1年、10年をつくり、生涯を作り上げる。

7年目の被災地には、どんな光景が広がっているのか。

目の前に広がる光景は紛れもなく、マイナスをゼロに戻し、再び自然と共にプラスを作ろうとしているリアルな現場。

時間の流れ、積み重ね、有限の時間を誰のために、どう生かすかを考えるきっかけに、必ずなる。

● 行程

・3/10（土）

仙台駅 9:00 集合

（ツアー中は、レンタカーでの移動が中心となります）

9:00～

★移動→仙台駅～野蒜駅跡（43km・45分）

10:00～

野蒜駅遺構見学・仙石線撮影（海を背景に走る列車）

12:30～

★移動→野蒜駅付近～南三陸町（66km・1時間00分）

14:00～

南三陸町

同町で被災（現在も在住）し、避難所の統率を円ったご経験を持つ方のご案内で南三陸町を見学

下道荘（<http://sitamiti.jp/>）に宿泊

夕食後、撮影した作品をプリントアウトし、手書きのメッセージを書き入れたポストカードを作成します。現地からの想いを未来の自分へ、または大切な人へ宛てて、投函いたします。

ポストカード以外にも当日撮影した写真は、高性能プリンターを使ってプリントしていただけます。

・ 3/11 (日)

7:30～

★移動→下道荘～大川小学校跡地 (34km・45分)

8:30～

大川小学校

11:00～

★移動→大川小学校～女川 (27km・40分)

12:00～

女川

女川駅周辺にて、食事ならびにお買い物時間

企業防災の大切さを伝え続ける語り部、田村さんのお話を伺う

14:46 黙祷

(田村さんの取り組み)

[https://www9.nhk.or.jp/archives/311shogen/detail/#dasID=D0007710107\\_00](https://www9.nhk.or.jp/archives/311shogen/detail/#dasID=D0007710107_00)

000

16:00～

★移動→女川～仙台駅 (70km・1時間20分)

仙台駅 18:00 解散

● ツアー募集要項

日にち：2018年3月10（土）～11日（日）

最大募集人数：20名程度

ツアー代金：※「ツアー代金」を参照

● ツアー代金（※ご参加の人数で価格が異なります）

10名参加…¥32,500

15名参加…¥22,500

20名参加…¥20,200

● 備考

- ・ 10日仙台駅集合まで、ならびに11日仙台駅解散後の移動は、ツアー料金に含まれません。チケット手配が必要な方はご相談ください。
- ・ お食事は1日目の朝・昼、2日目の昼・夕は各自ご負担となります。
- ・ ツアー中のレンタカーガソリン代、有料道路通行料は頭割りで申し受けます。

● お問い合わせ・お申し込み

メールにて、ご連絡をお願いいたします。

武川健太本人直通メールアドレス：

[info.mukawakenta@gmail.com](mailto:info.mukawakenta@gmail.com)